

エコアクション21 環境経営レポート

DAZAIFU
SEISO



2024年度

対象期間：2024年4月1日～2025年3月31日

発行日：2025年6月9日

有限会社 太宰府清掃

目 次

- 1.組織の概要 P.2
- 2.対象範囲(認証・登録範囲) P.4
- 3.環境経営方針 P.6
- 4.環境経営目標 P.7
- 5.環境経営計画 P.9
- 6.環境経営目標の実績及び評価 P.10
- 7.環境経営計画と実施状況及び評価 P.12
- 8.リサイクル活動
(ECO推進部、社会貢献推進部) P.15
- 9.エコ安全運転
(安全推進部、燃料抑制推進部) P.18
10. 使用量
(ECO推進部、省エネ推進部) P.20
- 11.環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評
の結果、並びに違反、訴訟等の有無 P.23
- 12.代表者による全体評価と見直し・指示 P.24

1.組織の概要

(1)事業所名及び代表者名

事業所名 有限会社 太宰府清掃
代表者名 代表取締役 田川 淳一

(2)所在地

〒818-0114 福岡県太宰府市大字北谷892-5
TEL 092-924-7297
FAX 092-928-7876

(3)事業の概要

一般廃棄物収集運搬業・・・太宰府市委託・許可業務 家庭系ごみ、事業系
再生資源回収業・・・ダンボール、新聞紙、雑誌、その他の資源

許可項目	許可番号	許可有効期限
一般廃棄物処理業(太宰府市)	許可第1号	令和6年4月1日～令和8年3月31日
一般廃棄物収集運搬業(春日市)	許可第21号	令和6年4月1日～令和8年3月31日

創業 1957年（昭和32年）
法人設立 1977年（昭和52年4月）
資本金 1000万円

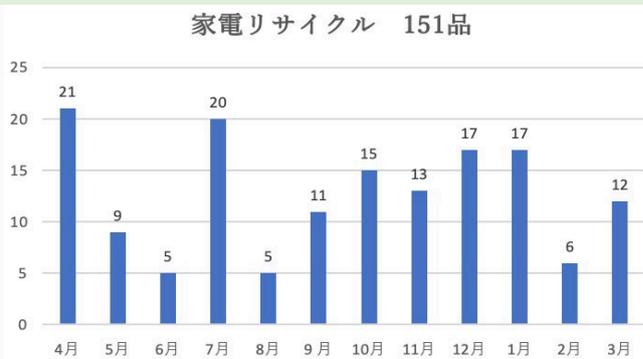
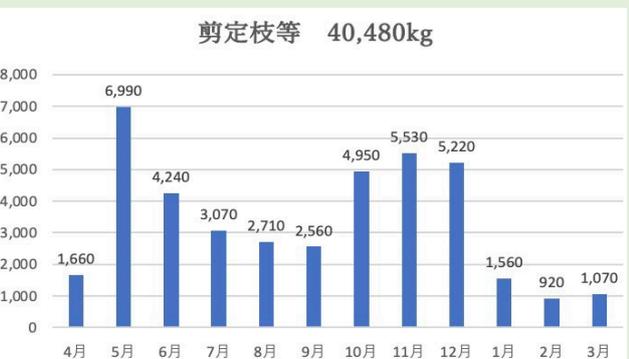
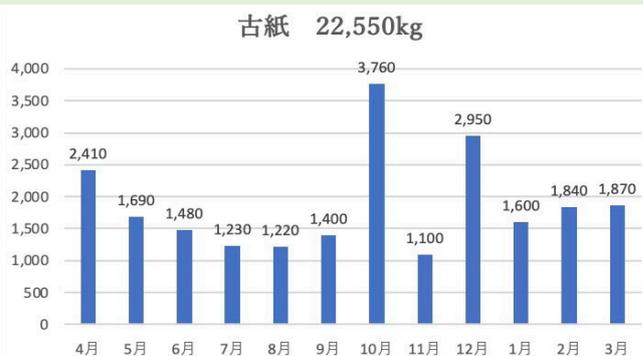
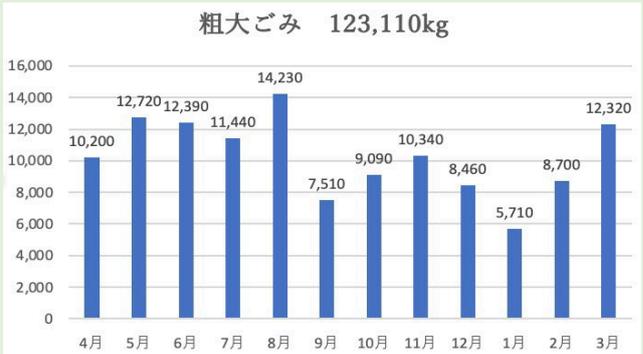
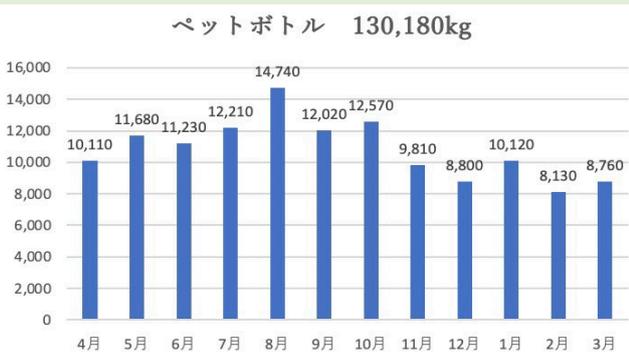
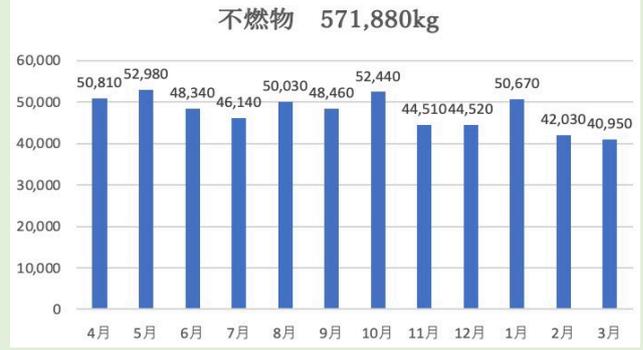
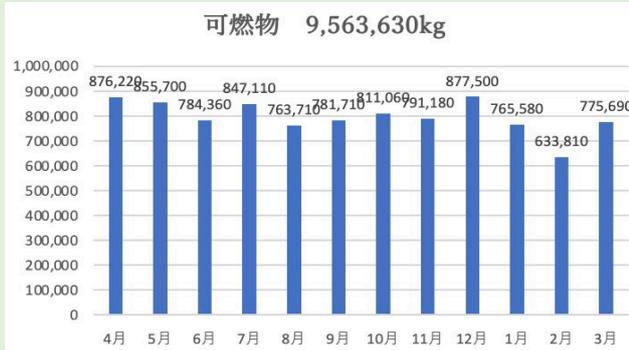
(4)事業の規模

年商 太宰府市および市内事業所との契約による
従業員数 35名
業務許可車両 パッカー車 8台
ダンプ車 2台
軽トラック 1台
会社床面積 515.7㎡
会社敷地面積 2,479.4㎡

(5)環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者 田川 晃
担当者 平山 重雄（事務局）

(6)一般廃棄物収集運搬及び再生資源回収実績



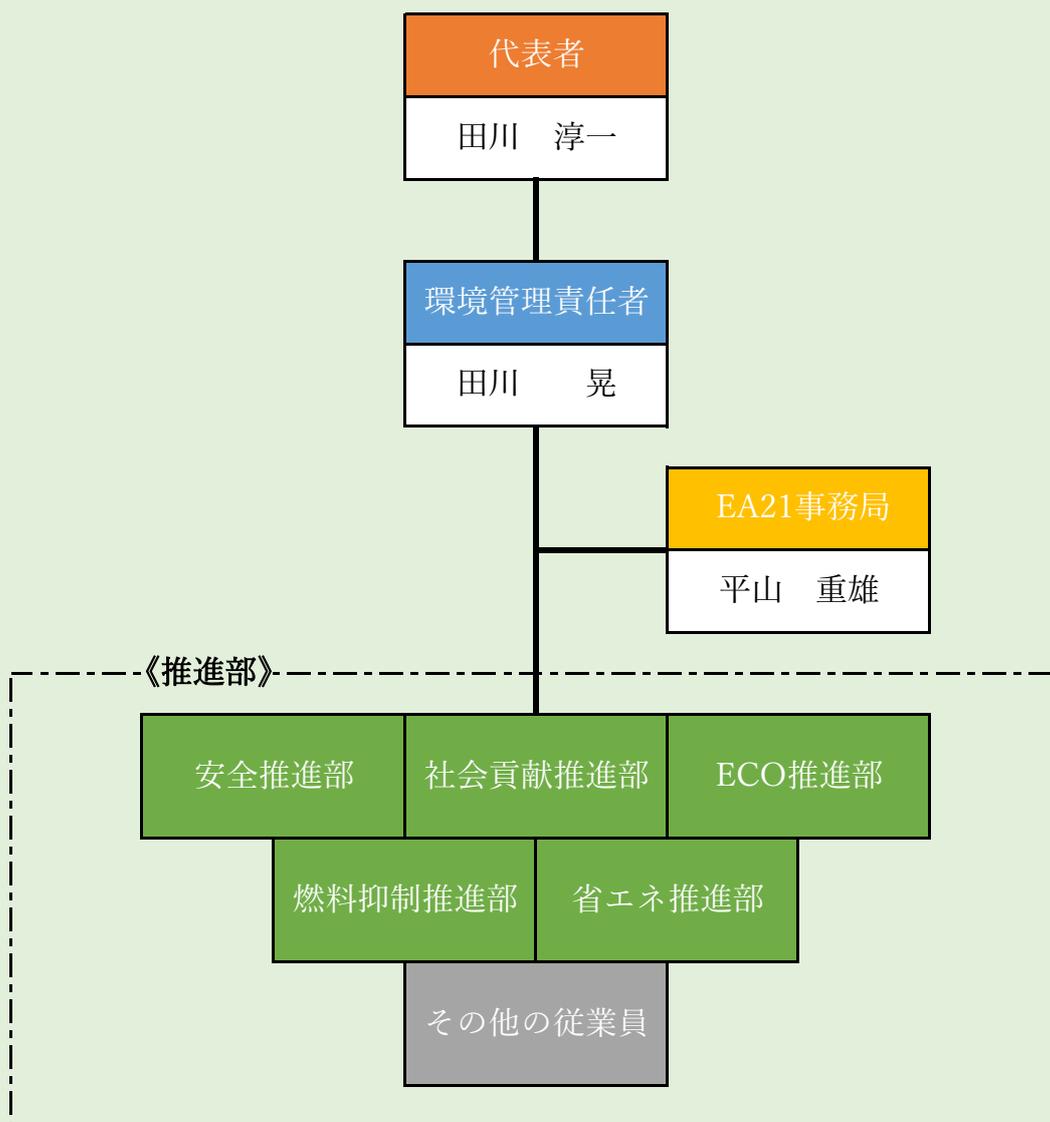
※2024年度(2024年4月1日～2025年3月31日)の実績になります。

2.対象範囲(認証・登録範囲)

(1)事業活動 (全活動) 一般廃棄物収集運搬業、再生資源回収業

(2)対象事業所 (全組織) 全社

(3)組織図



(4)役割分担・権限

所属	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none">・代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ。・経営における課題とチャンスを確認にする。・環境経営方針を作成、見直し従業員に周知する。・環境管理責任者、EA21事務局員を任命する。・環境への取組を実施するための経営資源(人、金、物、情報)を準備する。・EA21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none">・EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境経営実績を向上させる。・毎年、環境経営目標、環境経営活動計画を作成する。・上記の結果を代表者に報告する。
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none">・環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録類、及びデータの作成、維持、集計、管理を行う。・社外からの環境情報の収集と伝達を行う。
推進部長	<ul style="list-style-type: none">・環境経営方針、環境経営目標、環境経営活動計画を全従業員に周知する。・環境経営目標達成のため、責任を持って自部門の環境経営活動を推進する。・年に1回、環境経営目標の達成状況及び環境経営活動の実施状況を確認、評価する。・各部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する。・各部門に関連する法規制等を遵守する。・各部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する。・各部門の教育、訓練を実施する。
全従業員	<ul style="list-style-type: none">・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する。・決められたことを守り、自主的、積極的に環境経営活動へ参加する。

3.環境経営方針

環境経営方針

<基本理念>

有限会社太宰府清掃は、地域の環境保全はもとより、環境保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、企業活動のあらゆる面で地球環境の負荷を最小限とする企業を目指し、環境問題への取り組みを推進し、併せて社会への貢献を図ります。

<環境保全への行動指針>

- 1.廃棄物の削減及びリサイクルを推進し、景観の維持・環境負荷の低減ならびに環境汚染予防に努め環境保全に取り組みます。
また、全従業員の環境活動を推進するために以下の担当推進部を設けます。

各推進部における重点取り組みと担当推進部

収集運搬車両・営業車両のエコドライブを実施し、二酸化炭素排出量を削減(安全推進部)

再使用、再生利用を推進/地域の奉仕活動への参加/クリーンデーの実施(社会貢献推進部)

水資源の節水、コピー用紙の削減、自社の廃棄物量の削減(ECO推進部)

収集運搬車の燃料消費に伴う二酸化炭素の削減(燃料抑制推進部)

電力・電灯・灯油の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減(省エネ推進部)

これらについて環境経営の継続的な改善を誓約します。

- 2.環境関連法規制や当社が約束事を遵守します。

制定日：2017年1月4日

改訂日：2021年4月8日

有限会社 太宰府清掃

代表取締役 **田川 淳一**

4.環境経営目標

2020年度を基準とし、2021年以降を1%減で策定(維持目標は除く)
2024年度の目標を以下の赤字にて示す。

環境経営目標	単位	2020年 度 実績値	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
1.二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	153,629	150,000	148,500 (-1%)	147,000 (-2%)	145,500 (-3%)	
	①電気使用量の削減 (電灯)	kWh	17,875	20,000	19,800 (-1%)	19,600 (-2%)	19,400 (-3%)
	(電力)	kWh	15,337	15,000	14,850 (-1%)	14,700 (-2%)	14,550 (-3%)
	②軽油使用量の削減 (維持目標)	L	52,151	54,000	54,000	54,000	54,000
	③灯油使用量の削減 (維持目標)	L	620	650	650	650	650
2.水使用量の削減(1,000L=1m ³)	m ³	355	350	600	600	600	
3.紙使用量の削減(維持目標)	枚	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	
4.奉仕活動・クリーンデーの実施 (維持目標)	回	1	4	2	2	2	
5.エコキャップの推進(維持目標)	個	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	
6.自社廃棄物の削減	kg	615	700	693 (-1%)	686 (-2%)	679 (-3%)	

※購入電力の二酸化炭素係数は、九州電力の2023年度調整後排出係数0.402Kg-CO₂/kWh用いた。
また、維持目標の項目は業務上において削減が困難なため設定しています。

次年度(2025年度以降)中期目標を以下に示す

尚、2025年度の設定値は今後の熱中症対策や業務上の増加要素を踏まえているため、基準値を上回る設定が設けられている。

環境経営目標		単位	2024年 度 実績値	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
1.二酸化炭素排出量の削減		kg-CO ₂	155,370	160,000	158,410 (-1%)	156,860 (-2%)	155,330 (-3%)
	①電気使用量の削減	(電灯) kWh	16,964	17,000	16,831 (-1%)	16,666 (-2%)	16,504 (-3%)
		(電力) kWh	20,811	21,000	20,792 (-1%)	20,558 (-2%)	20,388 (-3%)
	②軽油使用量の削減 (維持目標)	L	53,750	54,000	54,000	54,000	54,000
	③灯油使用量の削減 (維持目標)	L	600	650	650	650	650
2.水使用量の削減(1,000L=1m ³)		m ³	542	600	600	600	600
3.紙使用量の削減(維持目標)		枚	13,500	14,000	14,000	14,000	14,000
4.奉仕活動・クリーンデーの実施 (維持目標)		回	2	2	2	2	2
5.エコキャップの推進(維持目標)		個	7,700	5,000	5,000	5,000	5,000
6.自社廃棄物の削減		kg	453	600	594 (-1%)	588 (-2%)	582 (-3%)

※購入電力の二酸化炭素係数は、九州電力の2023年度調整後排出係数0.402Kg-CO₂/kWh用いた。
また、維持目標の項目は業務上において削減が困難なため設定しています。

5.環境経営計画

(1) 二酸化炭素排出量

- ・アイドリングストップの推進。
- ・エコドライブ等運転方法の配慮の呼びかけ。
- ・ドライブレコーダーでの確認。
- ・消費した燃料の記録をする。

担当：安全推進部/燃料抑制推進部

- ・電気の消灯の確認、呼びかけ。
- ・使用頻度が少ないトイレ等の照明は使用時のみ点灯させる。

担当：省エネ推進部

(2) 水使用量

- ・水資源の節水の為、水が出しっぱなしになっていないか確認をする。
- ・水使用量を年間調査し、節水に役立てる。

担当：ECO推進部

(3) 地域の奉仕活動

- ・クリーンデーの実施、従業員の奉仕活動。
- ・エコキャップ推進協会へのエコキャップの提供
(自社への持ち込み)

担当：社会貢献推進部

(4) 廃棄物排出量

- ・コピー用紙の削減の為一度使用した紙の裏を利用する（可能な場合）
- ・両面コピーが出来る場合、優先して両面コピーをする。
- ・分別、リサイクルを積極的に行う。

担当：ECO推進部

6.環境経営目標の実績及び評価

環境経営方針	重点項目 (取り組み方法及び目標と実績)		実績評価 (次年度の取り組み内容も含む)
二酸化炭素排出量の削減	目標 145,500kg-CO ₂	実績 155,370kg-CO ₂	✕ 目標は達成出来ていない。 また、業務上での使用増加が影響している。
エコドライブの推進 (安全推進部)	エコドライブ等運転方法の配慮の呼びかけ		次年度もしっかりできるように呼びかけと管理を徹底していきたい。
	方法	ドライブレコーダーで確認する (基準:エコ運転率70%)	
収集運搬車の燃料消費に伴う二酸化炭素の削減 (燃料抑制推進部)	収集運搬・作業車の燃料に伴う二酸化炭素の削減		次年度も継続して活動していきたい。
	方法	アイドリングストップの推進	
	燃料消費量の把握		○ 目標は達成できている。 現状、業務での必要性が重要なため維持できるようにしたい。
	方法	燃料使用量を記録し、削減に役立てる。	
	目標 54,000L	実績 53,750L	
電力・電灯の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減 (省エネ推進部)	電灯に伴う二酸化炭素の削減		○ しっかりと活動ができているので次年度も引き続き継続して活動していきたい。
	方法	使用頻度が低いトイレなどの照明は普段は消灯し、使用時のみ点灯	
	目標	実績	
	19,400kWh	17,009kWh	
電力に伴う二酸化炭素の削減		✕ 目標は達成出来ていない。 また、業務上での使用増加が影響している。	
方法	電気の消灯、確認、呼びかけ		
目標	実績		
14,700kWh	20,811kWh		

○・・・目標を達成している。

✕・・・目標を達成出来ていない。

環境経営方針	重点項目 (取り組み方法及び目標と実績)		実績評価 (次年度の取り組み内容も含む)
水資源の節水、 コピー用紙の削減 (ECO推進部)	水資源の節水		○ 目標達成ができた。 事業での使用増加が影響している。
	方法	水の使用量の記録し、 節水に役立てる。	
		目標 600m ³ 実績 542m ³	
	コピー用紙の削減		○ 目標達成出来ている。
方法	一度使用した紙の裏を利用する。 両面コピーができる場合、 優先して両面コピーをする。		
	目標 14,000枚 実績 13,500枚		
再使用、再利用の推 進/地域の奉仕活動参 加 (社会貢献推進部)	地域の奉仕活動		○ 一年間通してしっかりとした 活動ができていた。 次年度も引き続きしっかりとした活動を行なっていきたい。
	方法	クリーンデーの実施、 従業員の奉仕活動	
		目標 年2回 実績 年2回	
自社廃棄物の削減 (ECO推進部)	再使用、再利用の推進		○ しっかり分別の意識があり それが削減につながった。 次年度も継続していきたい。
	方法	エコキャップが出た場合、 できる限り自社に持ち込む。	
		目標 679kg 実績 453kg	
自社廃棄物の削減 (ECO推進部)	自社の廃棄物量の削減		○ しっかり分別の意識があり それが削減につながった。 次年度も継続していきたい。
	方法	分別・リサイクルを積極的に行 う。	
		目標 679kg 実績 453kg	

○・・・目標を達成している。

×・・・目標を達成出来ていない。

7.環境経営計画の実施状況及び評価

重点取組項目 取り組み方法		実施状況					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月
収集運搬・作業車の燃料に伴う二酸化炭素の削減							
方法	アイドリングストップの推進	○	○	○	○	○	○
エコドライブ等運転方法の配慮の呼びかけ							
方法	ドライブレコーダーで確認する (基	○	○	○	○	○	○
燃料消費量の把握							
方法	燃料使用量を記録し、 削減に役立てる。	○	○	○	○	○	○
電灯に伴う二酸化炭素の削減							
方法	使用頻度が低いトイレなどの 照明は普段は消灯し、使用時	○	○	○	○	○	○
電力に伴う二酸化炭素の削減							
方法	電気の消灯、確認、呼びかけ	○	○	○	○	○	○
水資源の節水							
方法	水の使用量の記録し、 節水に役立てる。	○	○	○	○	○	○
コピー用紙の削減							
方法	紙の再利用する。 両面コピーの利用。	○	○	○	○	○	○
地域の奉仕活動							
方法	クリーンデーの実施、 従業員の奉仕活動	-	-	○	-	-	-
再使用、再利用の推進活動							
方法	エコキャップが出た場合、 できる限り自社に持ち込む。	○	○	○	○	○	○
自社の廃棄物量の削減							
方法	分別・リサイクルを積極的に 行う。	○	○	○	○	○	○

重点取組項目 取り組み方法		実施状況					
		10月	11月	12月	1月	2月	3月
収集運搬・作業車の燃料に伴う二酸化炭素の削減							
方法	アイドリングストップの推進	○	○	○	○	○	○
エコドライブ等運転方法の配慮の呼びかけ							
方法	ドライブレコーダーで確認する (基	○	○	○	○	○	○
燃料消費量の把握							
方法	燃料使用量を記録し、削減に役立てる。	○	○	○	○	○	○
電灯に伴う二酸化炭素の削減							
方法	使用頻度が低いトイレなどの照明は普段は消灯し、使用時	○	○	○	○	○	○
電力に伴う二酸化炭素の削減							
方法	電気の消灯、確認、呼びかけ	○	○	○	○	○	○
水資源の節水							
方法	水の使用量の記録し、節水に役立てる。	○	○	○	○	○	○
コピー用紙の削減							
方法	紙の再利用する。 両面コピーの利用。	○	○	○	○	○	○
地域の奉仕活動							
方法	クリーンデーの実施、従業員の奉仕活動	-	-	○	-	-	-
再使用、再利用の推進活動							
方法	エコキャップが出た場合、できる限り自社に持ち込む。	○	○	○	○	○	○
自社の廃棄物量の削減							
方法	分別・リサイクルを積極的に行う。	○	○	○	○	○	○

重点取組項目 取り組み方法		評価結果	
		総合	
収集運搬・作業車の燃料に伴う二酸化炭素の削減			
方法	アイドリングストップの推進	○	取り組みは出来ている。
エコドライブ等運転方法の配慮の呼びかけ			
方法	ドライブレコーダーで確認する (基	○	エコドライブ率70%以下はないが、急発信、急減速に注意が必要。
燃料消費量の把握			
方法	燃料使用量を記録し、削減に役立てる。	○	取り組みは出来ている。
電灯に伴う二酸化炭素の削減			
方法	使用頻度が低いトイレなどの照明は普段は消灯し、使用時	○	照明など使用しない時の消灯に意識を持ってた
電力に伴う二酸化炭素の削減			
方法	電気の消灯、確認、呼びかけ	○	牛乳パック作業に伴い、使用量が増加設定を上げる必要がある。
水資源の節水			
方法	水の使用量の記録し、節水に役立てる。	○	牛乳パックでの水の使用で増加。
コピー用紙の削減			
方法	紙の再利用する。 両面コピーの利用。	○	取り組みは出来ている。
地域の奉仕活動			
方法	クリーンデーの実施、従業員の奉仕活動	○	クリーンデー、環境月間の実施が出来ている。
再使用、再利用の推進活動			
方法	エコキャップが出た場合、できる限り自社に持ち込む。	○	活動はしっかり行っていた。
自社の廃棄物量の削減			
方法	分別・リサイクルを積極的に行う。	○	出来るだけのリサイクル活動で廃棄物を減らせた。
総合	次年度以降は業務工程及び熱中症などによる影響を踏まえた目標設定及び計画を策定していきます		

8.リサイクル活動(ECO推進部、社会貢献推進部)

社内及び従業員宅から出るアルミ・スチール缶、ダンボール、ペットボトル、雑誌・新聞紙、一升瓶を持ってきてもらいリサイクルを行なっています。



ダンボール



スチール缶



アルミ缶



一升瓶



ペットボトル



雑誌・新聞紙



ペットボトルのキャップ



紙製品専用ボックス

事務所でも不要な紙やシュレッダーくず、ペットボトル、アルミ、スチール等分別しています。



雑紙



裏面が使えるものはメモ用紙にしています。



シュレッダーくず

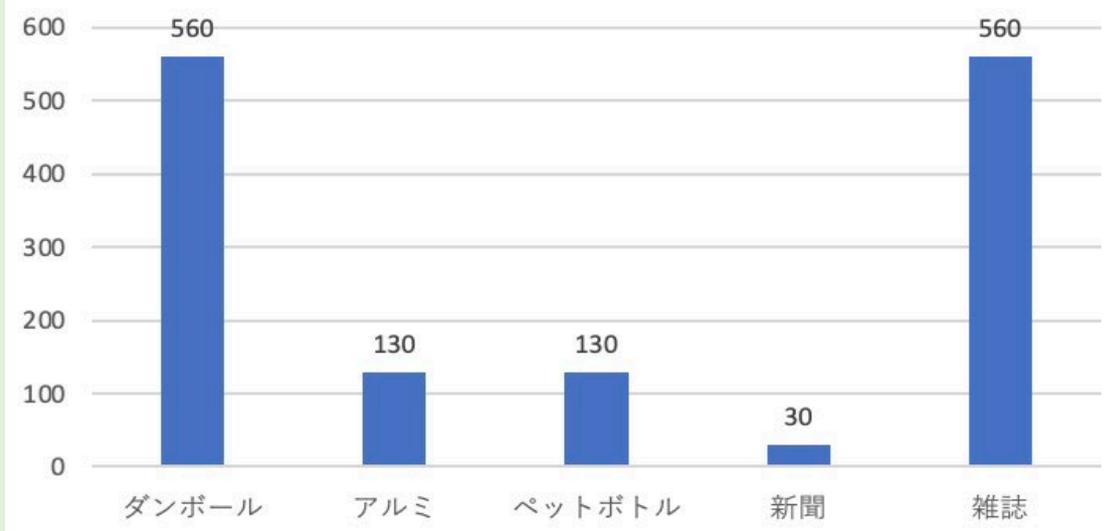


アルミ、スチール、その他で分別



ペットボトルとキャップ

自社リサイクル 1,410kg



有限会社 太宰府清掃 様

受領日 2025年4月4日

ご住所: 〒818-0114 福岡県太宰府市北谷892-5
TEL: 092-924-7297
FAX: 092-928-7876

エコキャップ

受領書



JCV協賛キャラクター「ワクちゃん」

JCVタイアップ企業
株式会社 木村 九州事業部

合計受領個数 7,700 個

品目	数量	単位	1kgに対して	キャップ個数	備考
エコキャップ	14	kg	約550個	7,700	

ペットボトルのキャップは
『世界の子供にワクチンを』
NPO法人 世界の子供に
ワクチンを日本委員会(JCV)
へ寄付しています。



9. エコ安全運転(安全推進部、燃料抑制推進部)

車両搭載のドライブレコーダーを活用し、エコ運転率で評価を行います。



車載カメラ(前方)



車載カメラ(運転席側)



車載カメラ(助手席側)



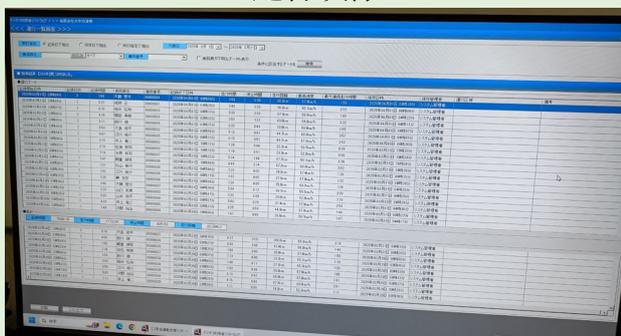
車載カメラ(後方)



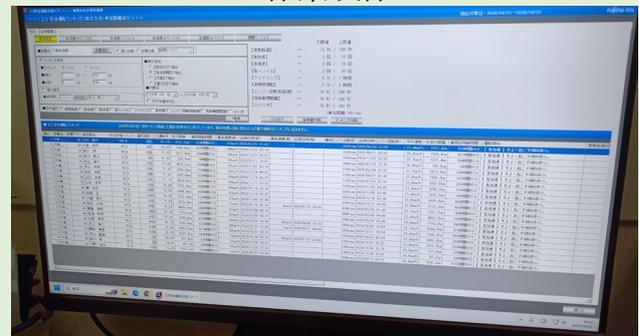
走行映像



作業映像



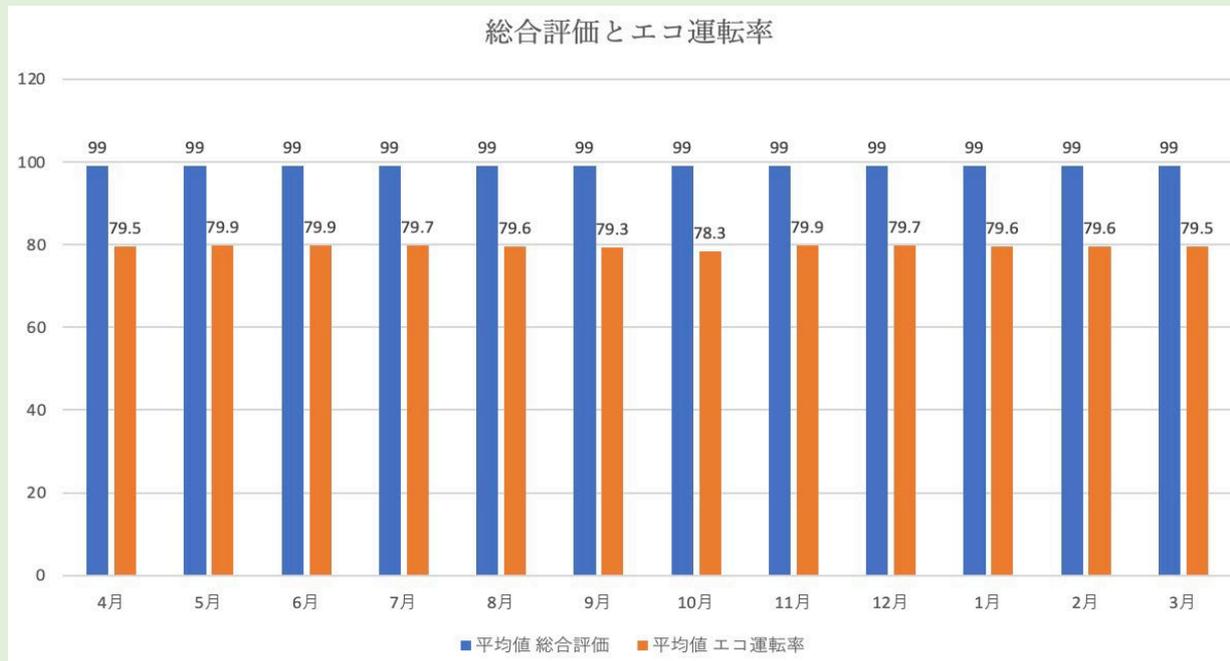
運行一覧



エコ運転支援ソフト

2024年4月	2024年5月	2024年6月	2024年7月	2024年8月
乗務員名	乗務員名	乗務員名	乗務員名	乗務員名
総合評価	総合評価	総合評価	総合評価	総合評価
ランク	ランク	ランク	ランク	ランク
エコ運転率	エコ運転率	エコ運転率	エコ運転率	エコ運転率
100	100	100	100	100
A	A	A	A	A
81.6	80.7	81.1	80.2	80.0
100	100	100	100	100
A	A	A	A	A
80	78.5	77	87.1	88.6
100	100	100	100	100
A	A	A	A	A
75.8	78.7	79.3	77.1	77.0
100	100	100	100	100
A	A	A	A	A
87.1	82.6	86	87.1	88.6
100	100	100	100	100
A	A	A	A	A
77.7	90.2	79.4	76.7	76.0
100	100	100	100	100
A	A	A	A	A
79.3	92.1	78.3	77.5	77.0
100	100	100	100	100
A	A	A	A	A
77	77.6	79.4	76.8	76.0
100	100	100	100	100
A	A	A	A	A
76.8	87.9	87.6	77.7	77.0
99	99	99	99	99
A	A	A	A	A
76.5	76	58.2	77	77.0
99	99	99	99	99
A	A	A	A	A
78.1	77.1	76.4	78.5	78.0
99	99	99	99	99
A	A	A	A	A
88.5	78.9	75.5	88.6	88.0
99	99	99	99	99
A	A	A	A	A
77.8	76	86.8	76.7	76.0
99	99	99	99	99
A	A	A	A	A
77.4	77.5	72.6	76.2	76.0
99	99	99	99	99
A	A	A	A	A
86.2	76.7	76.4	87.7	88.0
99	99	99	99	99
A	A	A	A	A
72.9	80.9	87.7	77.8	77.0
99	98	98	97	97
A	A	A	A	A
72.5	73.5	78.7	75.3	75.0
99	98	98	97	97
A	A	A	A	A
78.4	88	78.7	75.1	75.0
99	98	98	97	97
A	A	A	A	A
78	75.6	81.7	78.2	78.0
99	98	98	98	98
A	A	A	A	A
76.7	74	76	79.9	79.5
98	98	98	98	98
A	A	A	A	A
88.8	86.1	78.2	79.7	79.5
97	97	98	97	97
A	A	A	A	A
85.6	81.8	78.2	79.7	79.5
96	97	98	97	97
A	A	A	A	A
79.6	79.9	79.9	79.7	79.5
平均	平均	平均	平均	平均
99	99	99	99	99

エコ運転支援ソフトを活用し判定基準にしている。



2024年度1年間での総合評価平均が99%、エコ運転率が79.5%の結果に至る。

※総合評価はエコ運転率、走行距離、稼働時間等のデータをもとに、評価したものである。

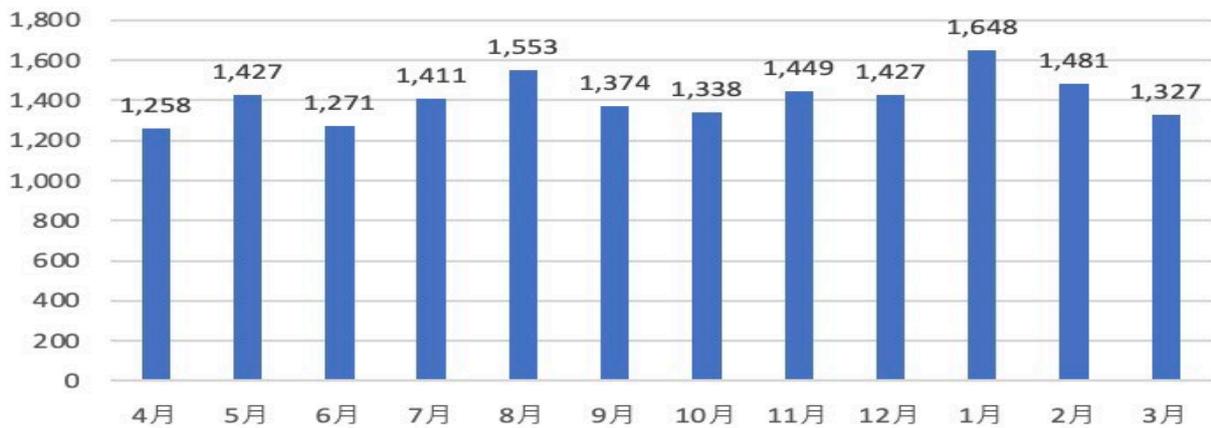
10.使用量(ECO推進部、省エネ推進部)

使用しない場所での照明等を消灯して、エアコンの使用も無理のない程度で行なっている。



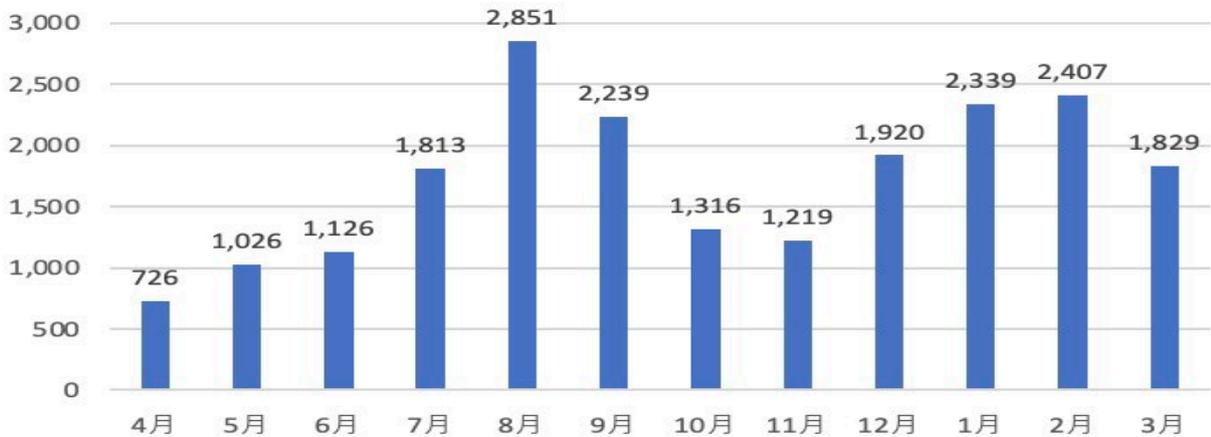
人が作業を行わない部分は消灯

電灯使用量 16,964kWh



主に室内照明等。

電力使用量 20,811kWh



主にエアコンや駐車場の電源系。

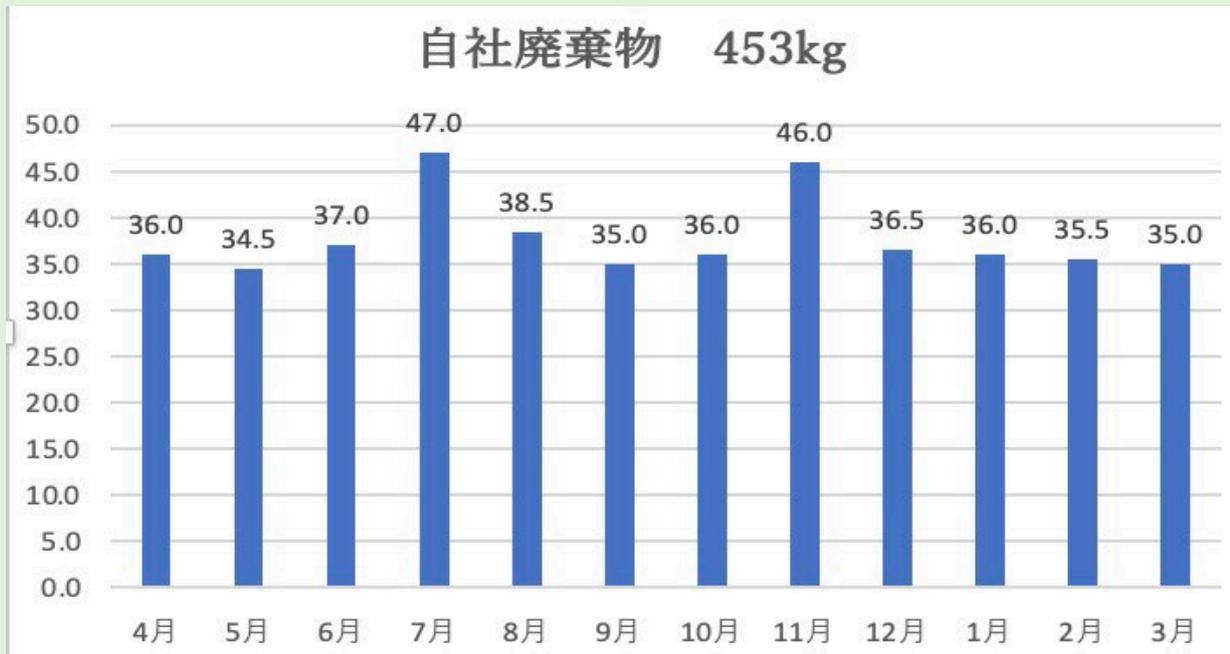
水においては2024年2月より事業拡大に伴う機械洗浄水の使用にて使用量が上がっています。



紙の使用量においては両面印刷や裏面をメモ用紙として使用。



自社廃棄物はリサイクルとの分別にて減量を計る。



11.環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規等は遵守されていました。

項目	法令等の名称	適用される要求事項	評価結果
廃棄物・リサイクル	一般廃棄物収集運搬		○
	太宰府市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	太宰府市 第11条関連条項が適用	
	春日市廃棄物の減量及び処理に関する条例	春日市 第26号各号関連条項が適用	
	産業廃棄物収集運搬		○
	廃棄物処理法、施行令、施行規則	規則第9条の2,第5項など産業廃棄物収集運搬業の各項目が適用	
	車両を使う運搬業務全般、運行		○
	道路交通法、貨物自動車運送事業法	第4条、過積載の防止基準47が適用	
	自動車点検基準	基準1,2が適用	
	自動車(事務所)		○
	自動車リサイクル法	第5・8・73条の適用	
	家電品廃棄物・業務用空調機		○
	家電リサイクル法	第6条、第43条など適用	
	フロン排出抑制法	法律50条-62条(フロン類再生)、法律63条-73条(フロン類破壊)	
	OA機器廃棄物		○
	リサイクル法	パソコンなどのOA機器あり	
洗車場の汚水(汚泥)		○	
廃棄物処理法	法12条等、汚泥について産廃処理委託が適用される		
水質	生活排水・汚水(事務所・1F控え室)		○
	太宰府市下水道条例	条例第26号	
	下水道法	法律79	

2025年3月17日に確認を行った結果、上記の環境関連法規制等の遵守状況を確認・評価した結果、問題はありませんでした。

また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

12.代表者による全体評価と見直し・指示

環境経営システムの有効性について

リサイクル活動を中心に会社内全体での取り組みが出来ている。
結果として目標を達成出来ていない項目があるので、次年度以降の
中期目標設定を変更を行う。

環境への取組について

新型コロナウイルスやインフルエンザ対策を優先させた中での
取り組みで、不十分な点もありましたが、活動はできる範囲で
行えています。
事業拡大に伴い機械を使用するため、環境へのできる限りの
取り組みを行なっていきます。

環境経営目標及び環境経営計画について

本年度の目標で、二酸化炭素排出量、電力使用量が達成できず。
また、水の使用量も上昇しています。
事業拡大に伴い使用頻度が上がっているため、次年度以降の
中期目標設定の基準引き上げを行います。

実施体制の見直しの必要性

実施体制に関しては変更はなく、新型コロナウイルス、インフルエンザ
及び熱中症対策に重点をおきながらの活動を行なっていきます。